

# 農業ふれあい公園だより

NO・14

【岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館】岩手県北上市飯豊 3-110 0197-68-3975



昭和41年9月撮影 写真は「岩手りんご100年のあゆみ」より  
朝のあいさつ タベの別れ いとしいりんごにささやけば 言葉を出さず  
小首をまげて あすもまたネと夢見顔 リンゴ可愛いや 可愛いやりんご

## 岩手りんご栽培の変遷(4) ～りんごの栽培史年表～

昭和36年(1961)

### 果樹園経営改善促進実験集落指定を受ける

農林省、県から助成を得て二戸郡一戸町大平茂谷地区に果樹園経営改善促進実験集落の指定を受け昭和36年から5カ年実施した。

### 第2室戸台風豊作を吹き飛ばす

この年、良品、豊作を予想していた本県りんごは9月16日午後から夜半にかけて本県に猛威を振った台風の影響を受け、りんごは多大の被害を被った。盛岡以南の被害はことに大きく、瞬間風速40メートルを記録し、この年の生産予想470万箱に対し、49.1%230万箱が落果して8億円以上の大損害を受けた。

昭和37年(1962)

### 園芸特産課の誕生

本県における園芸関係の行政については、従来生産並びに流通に関する指導奨励を農産課(特産係)において、また、加工面については農政課(農村工業副業係)においてそれぞれ所管していたが、4月に行政機構改革が行われ、農務部内に園芸特産課が新設され、定数も増員、園芸行政面の強化拡充が図られ、生産、流通並びに加工を一元化する体制に整備された。

### 全国りんご規格統一

農林省、全国りんご協議会等の指導で37年産から「秀」、「優」、「良」の三等級となり、段ボール箱は15kgに統一された。



1等(秀)、2等(優)、3等(良)

### 岩手県園芸試験場新設

岩手県農業試験場から園芸部、南部試験地、およびびどう試験地を分離し、岩手県園芸試験場を北上市飯豊町に設置、圃場20haを整備、昭和38年8月14日落成式を施行、岩手の園芸推進母体となった。

昭和38年(1963)

### 園芸学会秋季大会の開催

園芸学会昭和38年度秋季大会が10月2日から3日間、岩手大学60周年記念事業と併せて各種試験場が参画して、同大学において開催され、本県園芸農業振興に貢献した。

## スターキング、デリシャス 30 周年記念コンテストに参加

スターキング、デリシャス 30 周年記念事業会主催のスターキング、デリシャスコンテストが 11 月 22 日から 25 日まで 4 日間、東京都千代田区旅籠町日通ビルで開催され、本県から 56 点出品、うち金賞 2 点を獲得した。

昭和 39 年(1964)

## ゴールドン・デリシャス 40 周年記念品評会に参加

社団法人全国りんご協議会主催ゴールドン・デリシャス品評会が 11 月 22 日から 5 日間、東京都日本橋三越本店で開催され、本県から 60 点が出品され金賞 2 点を獲得した。

昭和 40 年(1965)

## りんご新植団地に野ねずみの大被害

花巻市の奥羽山麓近くの新植地、太田りんご生産組合、中根子りんご生産組合など各地の新植地に 2 月上旬頃、野ねずみが大発生して被害甚大であった。

## 岩手県経済連 CA 貯蔵庫大型共選所冷蔵庫を設置

C - A 貯蔵庫の設置を国の青果物流通改善事業の重要施策として取り上げ、岩手県が昭和 39 年度事業の採択となり、岩手県経済連が 11 月に施工に着手し昭和 40 年 3 月完成。ここで品質管理されたりんごは「マジックリンゴ」という登録名称で 40 年 3 月 7 日から出荷された。また、先の 39 年 4 月には二戸郡一戸町に二戸青果事業所の大型共選所が落成、流通の近代化が促進された。



CA貯蔵りんごポスター

## りんご品種更新事業始まる

りんごの品種更新は、りんご栽培の振興を図るために必要であり、需要の停滞気味な紅玉、国光を生産性が高く、かつ需要増加が期待できる優良品種に更新する事業が農林省から打ち出された。

昭和 41 年(1966)

## 岩手りんごのソ連初出荷

岩手県経済連が国光 1,000 箱を新潟港、ナホト力経由でソ連に初出荷した。

## 第 14 回全国りんご研究大会本県で開催

全国果樹研究連合会、岩手県果樹協会の主催による第 14 回全国りんご研究大会が、9 月 8 日～9 日の 2 日間開催された。全国から 1,500 名が参加、生産基盤の整備拡充などを決議した。

## 紫波町遠山果樹協同防除組合第五回農業祭において天皇杯の受賞に輝く

紫波郡紫波町赤沢の遠山協同防除組合（代表伊藤定次郎氏）が、第五回農業祭の園芸部門で全国最優秀賞団体に選ばれ、天皇杯の受賞に輝いた。



天皇杯受賞記念パレード

昭和 43 年(1968)

## 盛岡市中央卸売市場を開設

盛岡市が紫波郡都南村津志田に盛岡市中央卸売市場を開設。青果部門が 7 月 29 日から開場した。

## 岩手県園芸試験場で 8 月 26 日りんご黒星病の発生を確認

この発生は本州における発生確認の最初であった。

## りんご価格暴落「紅玉、国光等山川市場出荷」

出荷出来なかつたりんごを山や川に大量放棄。

昭和 44 年(1969)

## 広域農業改良普及所の設置

経済圏の広域化、農業経営の専門化、農業技術の高度化、農業の広域主産地形成の急激な進展など、農業事情および生活条件の変化と交通通信機関の急速な発達に対応できる農業改良普及所の普及指導體制に整備するため 4 月から広域農業改良普及所を設置し、庁舎、機動力（4 輪車）普及高度化器材等の整備を行い、効率的な普及指導活動の展開を図った。

## 紫波郡下果樹広域主産地形成事業始まる

紫波郡下を対象として、昭和 44 年度農林省指定の果樹広域主産地形成事業を岩手県経済連が担当して開始された。

## わい性台養成の県委託事業はじまる

県園芸協会が県事業のわい性台養成の委託を受けてはじめた。行政ベースによるわい性台養成は国でははじめてであり、岩手方式と称され、わが国のりんご産業発展に寄与した。

昭和45年(1970)

### 農林省落葉果樹農業研修施設が落成

落葉果樹地帯の中で、全国で唯一の農林省落葉果樹農業研修施設が岩手郡雫石町に落成、4月20日から開講した。

### 第25回国民体育大会時における消費拡大事業

10月10日から開催の第25回国民体育大会開催時に、岩手県、岩手県経済連、岩手県園芸協会が共催して、りんごの消費拡大事業の一環として「レッドゴールド」を全国の選手役員など関係者24,000人余に対して提供した。また、10月24日から開催の全国身体障害者スポーツ大会に参加した全国選手にも提供し、消費拡大に役立った。

### 園芸試験場に園芸研修館落成

昭和46年(1971)

### 農産園芸課の誕生

本県の行政におけるりんご関係の取り組みについては昭和37年以来園芸特産課において所管していたが、昭和46年4月1日に農産園芸課が新たに誕生、りんご関係は果樹系の所管となった。

### 大迫ほ場を大迫試験地と改称

9月大迫町より用地の寄付を受け、ほ場を拡張整備。

### 岩手りんご百年記念事業

昭和46年9月18日岩手りんご百年記念事業会を発足、会長に岩手県知事千田正氏を選任、記念事業として下記の事業が行われた。

(内容)

1. 記念式典 10月24日岩手県産業会館
2. 記念出版「岩手りんご100年のあゆみ」
3. 記念碑の建立 盛岡市茶畑中央公民館 10月24日除幕式
4. 記念講演
5. りんご品評会の開催
6. 海外りんご事業調査団の派遣、(昭和47年度に実施)
7. 施設等の見学(昭和47年に実施)

昭和47年(1972)

### 第1回岩手県園芸試験場参観デー開催

第2回以降は、岩手県農業祭り参加行事として、毎年開催。

昭和47年～51年(1976)

### りんご腐らん病発生生態の解明と防除法試験実施

昭和48年(1973)～52年(1977)

### りんごのわい化栽培による早期多収と防除の高効率化試験実施

昭和55年(1980)

### 大迫試験地新庁舎落成

昭和57年(1982)

### りんご新品種開発、育成試験開始

昭和58年(1983)

### 本場に果樹ウイルス無毒化施設新築

昭和60年(1985)

### りんごウイルスフリー原母樹(ふじ、つがる等主要品種及びM・26等わい性台木の作出)、県農産物改良種苗センターへ引き渡し開始

昭和63年(1988)

### りんご品種「さんさ」を準奨励品種として普及

### 大迫試験地に国分謙吉翁農魂顕彰像建立される

平成元年(1989)～5年(1993)

### 「寒冷地における加工りんごの低コスト多収栽培技術の確立試験、緊急技術開発事業実施

平成3年(1991)

### 岩手オリジナル品種りんご新品種「岩手1号」種苗登録出願(平成4年「きおう」と命名)

平成4年(1992)

### 第40回全国りんご研究大会本県で開催

平成6年(1994)～10年(1998)

### 「早期多収を基幹とした高品質りんごの低コスト生産技術」試験、地域基幹事業実施

平成8年(1996)

### 岩手オリジナル品種「きおう」開発により県業績顕著者表彰を受ける

平成9年(1997)

### 農業研究センタースタート

農業試験場、蚕業試験場、畜産試験場、園芸試験場が統合、園芸試験場の場所に整備、統合化され業務を開始した。

平成15年(2003)

### 岩手オリジナル品種「黄香」(岩手6号)種苗登録

(花巻市大迫町葡萄ヶ丘農業研究所長 藤根 勝榮)

## 博物館・公園トピックス

### 第30回 企画展終える

「昔の岩手・農家の衣服」が8月8日から11月12日まで開かれ、雫石あねこや、玉山地域の仕事着と生活衣服を展示しました。



### 第31回 企画展のお知らせ

11月15日から2月上旬まで「稲づくり作業と農機具」をテーマに開催中です。みなさまのお越しをお待ちしております！



### ～ 参観デー2006 開催時のスナップ～



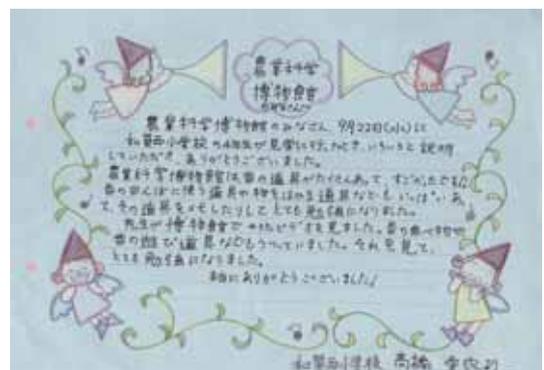
博物館ホールで農の生け花展が開かれました



加工工房で玄米粉を使った  
クッキー作りを行いました



水沢農業高等学校環境工学科3年生の皆さんが  
いらっしゃいました



来館された小学生の皆さんから  
感想文をいただきました